

くるみ乳児院だより 第7号

社会福祉法人 大阪福祉事業財団 くるみ乳児院 大阪市鶴見区緑1丁目18-30 TEL06-6180-5062 発行責任者 平瀬 まり子

くるみ乳児院では、地域のニーズを受け止めながら子育て支援を行っています。

『ショートステイ事業』
(大阪市の事業)

父母などが病気などで一時的に子どもの養育が困難になった時に宿泊をとまなうかたちでお預かりしています。
利用年齢は2歳未満です。

これからの行事予定
1月 お正月、初詣
2月 節分、冬のおでかけ
3月 ひな祭り、春のつどい

後援会からのお願い

『2019年度会員募集』

大阪福祉事業財団後援会は、2001年12月に「人を人として大切にすること、社会福祉の実現をめざして、結びつきと絆を大切に、輪を広げましょう」と呼びかけて結成されました。後援会では、法人各施設の増改築や新しい施設づくりなどの事業に協力し、会員相互の交流を深めながら権利としての社会福祉の実現をめざす協力・共同の取り組みを進めています。

社会福祉法人 大阪福祉事業財団くるみ乳児院を含む大阪府下の多くの施設で老朽化が進み、国や地方自治体は財政難を理由に、福祉・教育・医療などの予算を削減し、施設建て替え時の自己資金の割合も大きくなっています。

大阪福祉事業財団は、皆様の物心両面にわたるご支援・ご協力を必要としております。まだ後援会に入会されていない方は、入会していただきますよう、宜しく願いいたします。

*個人会員 1口 3,000円 *団体会員 1口 10,000円

大阪福祉事業財団と社会福祉の発展に協力し、応援して下さる方は、くるみ乳児院(06-6180-5062)までご連絡ください。



『失敗をおそれず前進とチャレンジを』
新年 あらためまして おめでとございます。

昨年中は、地域の皆さま、関係機関各位、そして保護者の方からの、日頃からのくるみ乳児院へのご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

また、昨年は地震、台風と近年類を見ない被災でしたが、その後、皆さまにおかれましてはお変わりなく新年を迎えられていることと存じます。お陰さまでくるみ乳児院は、地震も台風被害も受けることなく、子どもたちは元気に過ごせました。

新年があげまして、くるみ乳児院は三年目を迎えます。振り返るにはあまりに浅い歴史ですが、鶴見区で新施設として産声をあげて、よちよち歩きを始めたところでしょうか。地域の皆さまと交流したくて、狭い玄関前で、七夕祭りを行い、何組かの親子が遊びに来てくださいました。また、開所して一周年の記念すべき月でしたが、地域の方から温かい言葉をかけていただきました。とてもうれしく、こちらの地域に引っ越してきて本当に良かったと思えました。

「家庭に替わって」子どもたち一人ひとりの心身を育んでいく施設として、こどもの気持ちに寄り添い、子育てに悩む親御さんの想いや願いに寄り添うことができているのか、職員が自問自答しています。昨年乳児院を退所し、お家で一緒に暮らし始めた親子が数か月後遊びに来てくれたことがありました。仲のよい親子の姿を見せていただき、日々の養育の積み重ねを、これからも大切にしていこうと思えました。

経験年数が浅い職員が多いのですが、命を守り育てていく施設として、子どもの怪我がないように、大きなリスクは回避しなければなりません。しかし、これまでの二年間の経験を活かし、子どもにとって楽しいことを、失敗をおそれずチャレンジして行ってほしいと思っています。

どうぞ本年もよろしくお願い致します。

くるみ乳児院 施設長 平瀬 まり子



『七五三おめでとう』



11月16日、今年は6名の子どもたちが関目神社に七五三参りに出かけました。

たっぷりお昼寝した後、いつもとは違うおしゃれな洋服に着替え、子どもたちは大喜びです。周りの職員に「みてみて!」と、可愛いリボンやかっこいいネクタイを見せてくれました。

神社に着くと、子どもたちは少し緊張している様子でした。ご祈祷(ごきとう)が始まると、正座をしてお話を聞き入っている子もいれば、怖くなったのか泣いてしまう子、宮司(ぐうじ)さんの様子を興味深々なまなざしでじっと見つめている子、「それなに?」と質問をしている子とさまざまな表情を見せてくれました。ご祈祷が終わると破魔矢(はまや)やお菓子をもらい、子どもたちは大満足でした。

一緒に行った職員も大きくなった子どもたちの成長を感じることができ、記念となる一日になりました。

浅野 千奈都



子どもたちの
健やかな成長を願って
お参りしてきました。



クリスマス会をしたよ

MERRY CHRISTMAS



サンタさん
ありがとう!



おうたって
たのしいな☆



かわいいサンタさんたちが
聖歌隊で登場です!



クリスマススペシャル♡

あまーい♪
すっぱーい!
おいしーい☆



手作りの2段
ケーキだよ!



リコーダー演奏は、4名の有志の方々
でした☆ とても素敵な音色でした。
ありがとうございました。



食べることは 心と身体をつくれます。



今年も一年を通して、子どもたちとたくさん食事の取り組みをしました。普段の生活の中で食に関わることで、子どもたちにとって大切な経験であり、「食育」につながります。子どもたちは給食部のお手伝いをたくさんしてくれます。玉ねぎの皮むきや人参の型抜き、時にはお買い物にも行ってきます。玉ねぎの皮をむく時には、目うるうるさせながら一生懸命むいています。「おめめいたいね」と言いながらも、決して止めようとはしません。また、お買いものから帰ってくると、自分たちの身長と同じくらい大きなビニール袋を大事そうに抱えて、キッチンまで持って来てくれます。どこか誇らしげな表情は、見ているこちらまで嬉しい気持ちになります。

料理が出来上がる匂いや焼き色を見て「おいしそう」と感じることも大切です。ホットプレートを使って目の前で調理すると、「いいにおいだね」「ジュウジュウおとがするよ」と色々な言葉が飛び交います。

また、春にはお弁当を持ってピクニック、夏にはすいか割りや流しそうめん、秋にはさんまパーティーやぶどう狩り、そして冬にはクリスマスケーキやおせち料理を楽しみました。

来年も子どもたちが「食」に触れる機会をたくさん作り、食べることが大好きな子どもに育つようお手伝いしていきたいです。

栄養士 亀田 英里



2018年のいちご（年長保育室）での 保育を振り返って…



楽しかった動物園♪



きれいなあじさいみつけた☆

春には天王寺動物園にお弁当をもって遠足に出かけました。子ども達は、初めて見る大きなライオンやキリンにびっくりでしたが、がんばって往復の長い距離を歩いていくことができました。夏には、近くの鶴見緑地公園に川あそびやあじさいを見に行きました。自然の中で植物やだんご虫に触れてあそびました。秋にはどんぐりや落ち葉ひろいを楽しみ、みんなで秋の制作をつくりました。ハロウィンには手作りの衣装を着て楽しみました。冬は子どもたちの大好きなイベントがいっぱいです。クリスマスのリースや年賀状を子どもたちと制作しました。日々の保育では、指先を使った紐通しや、ままごとなどのごっこ遊びも楽しみました。

現在2歳から4歳までと月齢差のあるいちごですが、それぞれの目標にチャレンジし、意欲的に取り組めるような保育を目指しています。

今年も子どもたちと元気いっぱい、実りある一年を過ごしたいと思います。

青山 絵美



落ち葉や木の実にたくさん拾ったよ☆



手形スタンプや拾った木の実に制作をしました♪